



過去の参加ヤングリーダーズ

日独の一流大学以外にも以下の研究機関、企業、省庁、団体所属のヤングリーダーズが過年度に参加しました(ドイツ名アルファベット順)：

エアバス・ジャパン株式会社、朝日新聞社、ドイツ財界アジア太平洋委員会、株式会社ダイムラー、株式会社ドイツ銀行、ルフトハンザドイツ航空株式会社、ドイツポストDHL、ドイツ国際協力公社、ドイツ金属産業労働組合、日立製作所、日本国際交流基金、独立行政法人科学技術振興機構、日本国厚生労働省、日本労働組合総連合会、時事通信社、メルク社、三菱総合研究所、ミュンヘン再保険会社、パナソニック株式会社、独立行政法人理化学研究所、株式会社シーメンス、ディー・ツァイト(新聞社)、他

お問い合わせ

German-Japanese Young Leaders Forum
日独ヤングリーダーズ・フォーラム
Sven TRASCHEWSKI スヴェン・トゥラシェフスキ
Japanese-German Center Berlin (JDZB)
ベルリン日独センター
Saargemuender Str. 2
14195 Berlin, Germany
Tel. +49 (0)30 839 07 251
Fax +49 (0)30 839 07 220
straschewski@jdzbd.de
www.jdzbd.de

»2015年のヤングリーダーズ・フォーラムで得た経験は、現在・そして将来の私自身のキャリアにとって、非常に大きな財産になっています。普段では知りあうことのない多様な背景を持つメンバーとの濃いディスカッションを通じて、日独の文化・歴史・考え方の違い、ダイバーシティと相互理解の重要性など、改めて非常に多くの事を学びました。

毎年開催されるアラムナイ・ミーティングでも、仲間と再会を喜び合うとともに、グローバルな重要課題を議論することで、常に新鮮で広い視野の気づきを得られます。«

神澤太郎、2015年参加者
シーメンス株式会社



日独ヤングリーダーズ・フォーラム

写真提供
表紙写真: ベルリン日独センター
メルケル写真: ドイツ連邦政府/KUGLER
グループ写真: 在独日本国大使館



2006年、ベルリン日独センターはロバート・ボッシュ財団の協力を得て、「日独ヤングリーダーズ・フォーラム」を発足させました。

フォーラムの目的

日独ヤングリーダーズ・フォーラムは未来を見据えた事業です。日本とドイツの将来を担う若手指導者に、社会的・政治的に重要な見識を身につけてもらうことを目標とします。密なディスカッションの繰り返しから相互の信頼が深まるよう構成されたプログラムを通じて、参加者同士の絆が長期的に保たれ、日独関係のさらなる強化に資するネットワークが誕生することが期待されます。

構成

日独交互で毎年一回開催するサマースクールは有職者や専門家を講師に招いた密なレクチャーとディスカッションで構成されます。また、政治家との討論や開催国の代表的な機関や企業の視察、文化プログラムも盛り込まれています。

参加者層

政財学官界およびマスコミなど民間・公的機関の首脳層の推薦を受けた、特に将来性の高い若者(25歳から35歳)を、日本およびドイツから各8名募ります。参加者には英語での高いコミュニケーション能力が求められます。

»刺激的なテーマを深く掘り下げ学際的に考察することができたヤングリーダーズ・フォーラムは素晴らしい機会でした。なかでもオープンで活発な議論と高いレベルの専門知識を享受できたことが特に嬉しかったです。本フォーラムを通じて得た人脈は生涯の糧となるでしょう。«

エリーゼ・グラウア (Dr.)、2015年参加者
独連邦教育研究省

主催機関、資金手当て

フォーラムの企画運営はベルリン日独センターが担当し、2017年の資金は持株会社B・メッツラー・ゼール・ゾーン&Co.ホールディングが提供します。プログラムに関わる基本的な諸経費(宿泊費、食費、市内交通費等)は主催者負担で、旅費に関する支援が必要な場合は申請手続きを経た上で一定額の手当が支給されます。

ベルリン日独センターは科学技術および文化の分野における日独関係および国際関係の強化を目的に1985年に創設された非営利財団で、日独両国外務省およびベルリン州政府の支援を受けて運営されています。B・メッツラー・ゼール・ゾーンは1674年創立以来一貫して家族経営をつづけてきたドイツ最老舗の私立銀行です。

ヤングリーダーズ・フォーラム同窓会

2011年に歴代サマースクールの参加者が集まり、フォーラム全体の成果に大きく貢献するヤングリーダーズ・フォーラム同窓会(登録協会)を立ち上げました。フォーラムに対する旧参加者のコミットメントは、サマースクールで築かれた人脈の持続可能性の証でもあります。

日独両国の若手リーダーである参加者が共に学び、意見交換をし、相互の信頼関係を構築していくことができるこのプログラムは、大変貴重なものであると考えます。日独両国は基本的価値を共有し、多くの共通の課題に直面しています。両国の良好な関係の更なる強化は、両国のみならず、地域や世界にとって大きな意義を有するものです。参加者の皆さんには、今回の経験をもとに、将来、両国において日独関係の発展の担い手となってくださることを願っております。



八木 毅 駐独日本国大使

日独ヤングリーダーズ・フォーラムは日本とドイツの緊密な絆の継続的な活性化を促す貴重なプログラムです。本フォーラムでは日独からさまざまな分野で活躍する未来の指導者達を招き、グローバルな課題を考え、各々の視点を分かち合うことで、未来への共通の展望を發展させてゆき、経済、安全保障政策、少子高齢化といった現在の課題に協力して対処する新しいアイデアを共同で練り上げます。毎年の参加者の間に培われる深い相互理解および友情は、同窓生の継続的な活動とも相まって、両国の架け橋となる新しい世代を育成し、新鮮な発想をもたらす礎となっています。



ハンス=カール・フォン=ヴェアテルン
駐日ドイツ連邦共和国大使